

Q:

名古屋市に<sup>す</sup>住んでいます。子どもが<sup>きゆう</sup>急に<sup>ねつ</sup>熱を出した時<sup>とき</sup>や、けがをした時<sup>とき</sup>、どのように<sup>びょういん</sup>病院を探せばいいですか。

A:

<緊急<sup>きんきゆう</sup>のとき→119(外国語<sup>がいこくご</sup>で話<sup>はなし</sup>ができます)>

まず、<sup>おお</sup>大きなケガや、<sup>きゆう</sup>急な病<sup>びょう</sup>気の時<sup>とき</sup>(緊急<sup>きんきゆう</sup>の時<sup>とき</sup>)は、<sup>きゆうきゆうしゃ</sup>救急車(119)を呼んでください。

名古屋市では、119に電話<sup>でんわ</sup>があった時<sup>とき</sup>に22の言葉<sup>ことば</sup>で話<sup>はなし</sup>ができます。

どんな時<sup>とき</sup>に救急車<sup>きゆうきゆうしゃ</sup>を呼んだ方<sup>ほう</sup>がいいのか、<sup>した</sup>下の名古屋市<sup>なごやし</sup>のウエサイトを<sup>み</sup>見て、<sup>さき</sup>先に知<sup>し</sup>っておきましょう。

(日本語<sup>にほんご</sup>、英語<sup>えいご</sup>、中国語<sup>ちゅうごくご</sup>、ハングル)

・WEB: <https://www.city.nagoya.jp/bousai/shoubou/1012724/1013205/1034492/1013365.html>

★救急車<sup>きゆうきゆうしゃ</sup>を呼ぶか、呼ばないか迷<sup>まよ</sup>ったときは→#7119(外国語<sup>がいこくご</sup>で相談<sup>そうだん</sup>できます)

救急車<sup>きゆうきゆうしゃ</sup>を呼んでいいかどうか迷<sup>まよ</sup>ったときは、#7119(救急安心センター<sup>きゆうきゆうあんしん</sup>なごや:Kyūkyū Anshin Center Nagoya)に

電話<sup>でんわ</sup>をかけて、相談<sup>そうだん</sup>できます(24時間<sup>じかん</sup>、365日電話<sup>にちでんわ</sup>ができます)。

英語<sup>えいご</sup>や中国語<sup>ちゅうごくご</sup>など、21の言葉<sup>ことば</sup>で相談<sup>そうだん</sup>できます。

(#7119を押してもつながらないときは、052-951-7119に電話<sup>でんわ</sup>をしてください。)

<かかりつけ医<sup>い</sup>(Kakaritsuke-i)がいるとき>

「かかりつけ医<sup>い</sup>」とは、自分<sup>じぶん</sup>や家族<sup>かぞく</sup>がいつも行<sup>い</sup>っていて、飲<sup>の</sup>んでいる薬<sup>くすり</sup>や今までにかかった病<sup>びょう</sup>気<sup>き</sup>のことなどをよく知<sup>し</sup>っている

病<sup>びょういん</sup>院<sup>いん</sup>の先生<sup>せんせい</sup>のことです。

かかりつけ医<sup>い</sup>の病<sup>びょういん</sup>院<sup>いん</sup>が開<sup>ひら</sup>いているときは、そこに行<sup>い</sup>きましょう。

<休<sup>やす</sup>みの日<sup>ひ</sup>や、夜<sup>よる</sup>の時間<sup>じかん</sup>のとき>

もしも、休<sup>やす</sup>みの日<sup>ひ</sup>や夜<sup>よる</sup>の時間<sup>じかん</sup>で、かかりつけ医<sup>い</sup>の病<sup>びょういん</sup>院<sup>いん</sup>が開<sup>ひら</sup>いていない時は、近<sup>ちか</sup>くの「休日<sup>きゅうじつ</sup>・夜間<sup>やかん</sup>診療<sup>しんりょうじょ</sup>所<sup>じょ</sup>(Kyūjitsu·Yakan

Shinnryō jo)」の病院に行きます。近くの休日・夜間診療所の場所は、「愛知救急医療ガイド」のウェブサイト(英語・ポルトガル語・中国語・ハングル)で調べることができます。外国語で対応している病院も探すことができます。

・WEB: <https://www.qq.pref.aichi.jp/>

★子どもの病気やけがについて詳しく相談したいときは→#8000(日本語が分かる人と一緒に電話してください)

#8000は、365日、午後7時から翌朝8時までの13時間の間に、子ども(15歳より下の年齢)が急に病気になったり、ケガをしたときに相談ができる電話です。子どもの病気のことについて、詳しく相談できます。

日本語が分かる人と一緒に電話をしてください。

(#8000を押してもつながらないときは、052-962-9900に電話をしてください。)

<近くに日本語ができる人がいるとき>

近くに日本語ができる人がいる場合は「救急医療情報センター(Kyūkyū Iryō Jōhō Center)」に電話できます。

救急医療情報センターは、その時に行ける近くの病院のことを教えてくれます。病院の名前や電話番号を聞き取ったあと、行きたい病院に自分で直接電話をします。

「救急医療情報センター」

・TEL:052-263-1133(24時間、365日電話ができます)